

霜月 ひふみのあゆみ

ひふみ投信 11月度 ご報告書
2008年12月5日号

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第1151号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会



霜月 (11月)

霜が降る月の意味で、霜降り月・霜降月(しもふりつき)が省略されて、「霜月」となったというのが一般的な解説です。はかない冬の風物詩である「霜」。日が昇れば、とけて消えてなくなります。世界経済に降りた「霜」はいつ消えてなくなるのだろう・・・。



ファンドマネージャーから皆さまへのメッセージならびに、2008年11月の運用状況などをご報告いたします。

■11月のひふみ投信の運用環境・今後の見通し

<ひふみは今月も順調 日本は大丈夫!?!>

11月は、上に下にジェットコースターのような動きで、結局市場は若干下がりましたが、ひふみ投信は何とか2ヵ月連続でプラスを維持することができました。今月も、国内の消費に関連する株式が着実に上昇しました。

米国では、オバマ新大統領が選出され歓喜に沸きましたが、一方で金融不安に対してとうとう中央銀行が民間の債権を買取るという政策を発表して、ようやく金融面での不安が取り除かれました。ただ、これから本格的に景気の悪化がやってくるので、ベルトはしっかりと締めておく必要はあります。

日本でも、メディアではこの世の終わりのようなコメントが多いですが、ひふみでは日本の消費については楽観しています。デフレや円高は日本人の消費にとってはいいことですし、政府が打ち出そうとしている事業規模としては過去最大の経済対策は効果が見込めそうです。そして人口動態からみると、日本全体の人口は既に減少を始めていますが、2015年くらいまでは「団塊」世代がしっかりと消費してくれる上に、「団塊ジュニア」世代が消費する年代にさしかかるために逆に消費を押し上げる「ボーナス期」に入るからです。もちろん、今のようになちよと不安な時期にはできるだけ節約しようとはしますが、ひふみで保有しているユニクロの「ファーストリテイリング」が絶好調なのは、人口動態といった「ボーナス」と会社の「経営力」が加わったからかもしれませんね。

<ひふみは順調>

このようにひふみ投信では、日本の消費、それも生活を豊かにして支えてくれる会社の株式をたくさん組み入れています。今後も、市場ですから紆余曲折があるとは思いますが、是非暖かいご支援と理解をいただき、皆さまの資産形成のお手伝いできれば幸いです。



(ひふみ投信 運用責任者 立田博司)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

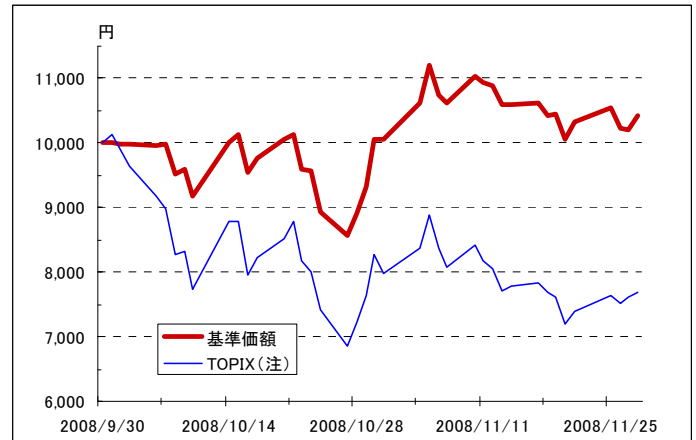
■ ひふみ投信の特色について

ひふみ投信は、お客さまの長期的な資産形成に貢献するために、円貨での信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、国内・外の上場株式に投資することにより、積極運用を行ないます。

■ 基準価額について（「ひふみ投信」の値段のことです）

基準価額	
2008年11月28日時点	
1万口当り 10,427円	

◆ 基準価額の推移



基準価額のおゆみ [騰落率]		TOPIX騰落率
過去1か月	3.55%	-3.72%
過去3か月	-	-
設定来	4.27%(※1)	-23.23%(※2)

- ※1 基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から11月28日までににおける数値です。
 ※2 TOPIX 騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から11月28日までににおける数値です。

(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(1087.41)を10,000として指数化しています。

※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

★TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。
 日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

■ 「ひふみ投信」の資産内容について（2008年11月28日時点）

皆さまからお預かりした大切なご資金で、どのように運用を行なっているのかをご報告いたします。

□ 資産の内訳

純資産総額	2.17億円
うち 株式	99.05%
うち 預金その他	0.95%

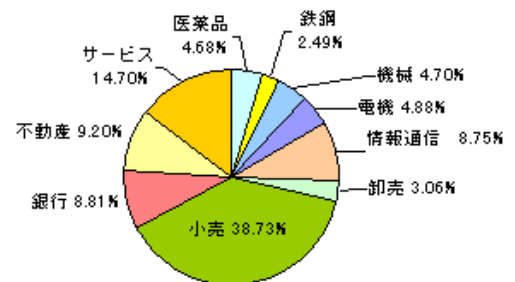


国別の割合	
日本株式	100%
海外株式	0%

□ 組入比率の高い銘柄（組入銘柄数:32銘柄）

	銘柄名	業種	比率
1	ゴールドクレスト	不動産	7.13%
2	日本電産	電機	4.88%
3	DCM Japanホールディングス	小売	4.80%
4	エイチ・アイ・エス	サービス	4.77%
5	ニトリ	小売	4.58%
6	アスクル	小売	4.53%
7	サイゼリヤ	小売	4.49%
8	スルガ銀行	銀行	4.48%
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行	4.32%
10	ソフトバンク	情報通信	4.11%

■ 組入銘柄の業種比率



* 組入比率は、いずれも「株式資産」に対する割合です。

- ・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
- ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

商品分類	追加型株式投資信託／国際株式型(一般型)	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。 (国内の金融商品取引所の売買立会が午前立会のみ半休日は11時まで)
途中換金	途中換金(解約)単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時(半日営業日は11時)までとなります。 解約のご請求は、お電話による受付のみとなります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。	

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入資産の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～
コミュニケーション・センター
電話: 03-5214-0123 (平日9時～17時)
メール: cc@rheos.jp

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的で作成されたものではありません。
・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。